

1 日本語をだんだん忘れる努力をする

この本では、日本語でまず自分の言いたいことを考えてからでないと英語が口から出てこないレベルの人々、すなわち、「英会話の初心者」ともいえる人々を対象に、いろいろ根本的な問題点の超克について、考えてきた。(もっとも、「英会話の初心者」は必ずしも「英語の初心者」ではないが)。

そしてその過程で、日本語と英語との文構造の違いが、あなたの英語の表現に、深刻な影響を与えていることを明らかにしてきた。

日本語の文をもとにして、そこから英文を作って発言する、という「和文英訳」的な方法に留まる限り、この本で展開してきたことがらは、あなたの今後の英会話にとって大いに役立つことであろう。

しかしながら、ここで根本的なことを思い出してみてもほしいのだが、あなたが望んでいる究極の英会話の実力とは、「まず頭の中で言いたいことを日本語で考えたのちに、それを英語に翻訳して口から発する英語」のことなのであるか？ そして同様に、「相手の言う英語をまず頭の中で日本語に翻訳して、その翻訳に対して反応する力」のことなのであるか？

そうではない、と思う。

あなたの望む理想の英語力・英会話力とは、**日本語をまったく介せず、英語だけですべてやりくりできる力**、そう、英米人のネイティブスピーカーなら誰もが日常生活で自然にやっているような英語力のことであろう。

だとすれば、

「英会話のときには、努めて日本語に頼らず、日本語を忘れる努力をする」

ことが絶対に必要になってくる。だって、英米人は英語をまず日本語に置き換えてから、相手のことばの意味を理解したりしているはずはないし、また、自分の発言内容をまず日本語で形成してからそれを英語に直す、なんてこともしているはずないのだから。

さて、それでは「日本語を忘れる」とはどういうことを意味するのであろうか？ 「日本語を忘れる」とは「英語で考える」ということに他ならないが、それはどのようにして可能なのか？ ということである。

それには**3つのレベル**があると思う。

[1] 語句のレベルで日本語を排除する

1つ目は、語句のレベルで日本語を排除していくことである。

たとえば、「犬」ということばがある。習いたてのころは「犬」と英語で言いたいときには、まず犬の姿を実際に見たり、犬の姿を頭の中のスクリーンに描き出ししたりすることで、「犬」という日本語が頭に浮かび、それからそれを英語に翻訳する、という過程をたどる。つまり、

犬の姿

……→「犬」という日本語

……→ “a dog / dogs / the dog / the dogs” という英語

という順をたどるであろう。簡単に言うと、